



令和6年度「船上山アカデミー」実施報告書



I 事業の概要

1. 期 日 令和6年12月26日(木)～28日(土) 2泊3日

2. 日程

12月26日(木)		12月27日(金)		12月28日(土)	
13:30	受付開始	6:30	起床	6:30	起床 部屋の片付け
14:00	出会いのつどい	7:00	朝のつどい	7:00	朝のつどい
14:30	交流レクリエーション	7:20	清掃	7:20	清掃 荷物移動
15:20	オリエンテーション 荷物移動	7:45	朝食	7:45	朝食
16:00	目標設定&共有	8:45	個人学習③(40分)	8:45	退所点検
16:25	個人学習①(50分)		みんなで学習① レザークラフト(ペンケース)	9:00	個人学習⑦(50分)
17:30	夕食	12:00	昼食	10:00	みんなで学習③
18:30	心と体を整えよう①	13:00	個人学習④(50分)	11:00	キンボール
19:45	個人学習②(30分)	14:00	みんなで学習②	12:00	昼食 感想記入
20:15	振り返り	15:15	学びのすすめ	13:00	個人学習⑧(60分)
20:30	入浴・就寝準備	15:45	個人学習⑤(90分)	14:15	別れのつどい
22:00	消灯	17:30	夕食	14:45	解散
		18:30	心と体を整えよう②		
		19:45	個人学習⑥(30分)		
		20:15	振り返り		
		20:30	入浴・就寝準備		
		22:00	消灯		

3. ねらい

- ・ 学習課題に個人やグループで取り組み、相互に刺激し合うことを通して、学習意欲の向上を図る。
- ・ 交流活動や集団生活を通して、自律的な生活態度や互いにより良い関係を築こうとする態度を養う。

4. 講師

からだ探検隊 代表 黒坂 洋史 氏
清元院 住職 井上 英之 氏



5. 対象 小学4年生～高校生 36名

6. 応募者数・当日参加者数

応募者数 47名
当日参加者数 33名(小学生20名、中学生10名、高校生3名)



7. 参加費 4,700円

8. サポーター

学生サポーター 5名（島根大学4名、鳥取大学1名）
社会人サポーター 4名

II 実施状況

■ 1日目の活動〈12月26日（木）天候 曇り〉

14時から出合いのつどいを行い、船上山少年自然の家職員のユニークな自己紹介で場を盛り上げた。参加者は若干緊張していたが、きまりや今後の予定についての説明をよく聴き、2泊3日の船上山アカデミーに向けて気持ちを引き締めている様子であった。

初めに、参加者同士で関わり合う「交流レクリエーション」を行った。サポーターも一緒に参加し、お互いに自己紹介をしながら交流を図った。後半には、活動班の友達と自己紹介をつなげていく活動や、部屋班対抗で全身を使ったじゃんけんゲームをした。こうした活動を通して、参加者の緊張もだんだんとほぐれていく様子が伺えた。

交流レクリエーションを終えると、施設の使い方や過ごし方に関するオリエンテーションを挟んで、参加者自身の個人目標を設定した。2泊3日の日程で学習と仲間づくり活動をしていくにあたって、自身の成長につながるような「学習の目標」「仲間づくりの目標」と1日ごとの個人学習の予定を立て、カードに記入した。「学習の目標」「仲間づくりの目標」については、班の友達と紹介しあう時間を持ち、互いの目的意識を共有することもできた。

個人学習の時間では、最初に「頭ほぐし」として簡単な計算問題（最大100問）を短時間（1分30秒）で解き、脳を活性化させる時間を設けた。この時間の前半は個人でじっくり学習に取り組む時間、後半は分からないところを質問できる時間とした。サポーターには、机間巡視をしながら参加者からの質問を受けたり、困っている様子の参加者に声をかけてもらったりして、問題を解く支援を行っていた。

夕食後には「心と体を整えよう」と題して、1日の終わりに自分の心や体を整えるというテーマの活動を設定した。1日目の夜は、からだ探検隊代表の黒坂洋史氏による「体軸体操」の指導を受けた。体操を通じて、その場ですぐに体が動かしやすく感じるようになったり運動能力テストの結果が向上したりした参加者が多く、喜びや驚きの声が上がっていた。

1日の終わりは、再び個人学習の時間である。この時間には、サポーターに加えて今年度から参加対象となった高校生にも小中学生の学習支援の役割を担っていただいた。終始落ち着いて学習に向かう雰囲気を参加者全員で作成し、1日目を終えることができた。

■ 2日目の活動〈12月27日（金）天候 曇り時々雪〉

この日の午前中は、個人学習の他に2つの新しい活動があった。1つ目「みんなで学習」は、班の友達と協働的に課題を解決していく活動である。この時間には、離れた場所に掲示された絵を交代で見



に行きホワイトボードに描き写す活動「人間コピー機」に取り組んだ。参加者たちは班ごとに作戦を立て、話し合いながら活動を進めていた。活動終了後には、誰がどのような役割を果たしていたか、班の協力はどれくらいできたか、といった振り返りをした。

午前中の新しい活動の2つ目「レザークラフト」は、革を用いてオリジナルの作品を作る活動で、船上山少年自然の家では令和6年度から提供を開始している。初めにクイズを通して革に関する学習を行い、それから一人一人がオリジナルのペンケースを製作した。参加者は夢中で製作に取り組み、ペンケースの仕上がりに大変満足した様子であった。

午後の「みんなで学習」では、 $+$ $-$ \times \div の演算記号や()を駆使していろいろな計算式を作る課題に取り組んだ。班で協力してできるだけ多くの式を見つけようとする、他の班が気付いていない式を進んで全体で紹介しようとするなど、参加者全体で学習を進めていこうとする意欲的な姿が見られた。

午後3時15分からは「学びのすすめ」と題して、2名のサポーターから学習方法に関するアドバイスや自身の体験談などを話していただいた。「学習をしていく上での健康の大切さ」「恩師に言われた言葉」「おススメの勉強法」など、それぞれの経験に裏打ちされた説得力のある話に、参加者は真剣に聴き入っていた。

2日目夜の「心と体を整えよう」では、清元院住職の井上英之氏による「坐禅」の指導を受けた。参加者は時間いっぱい落ち着いた態度で坐禅に取り組み、タイトルのとおりに心と体を整えることができた様子であった。その後の2日目最後の個人学習の時間も、1日目と同様に最後まで集中して学習に向かうことができた。

このように2日間過ぎてきて、最初は知らない者同士だった参加者たちもすっかり打ち解け、仲間意識が芽生えてきたようだった。休憩時間には、他の班の人とも集まって談笑したりボードゲームやボールなどで遊んだりする姿が見られるようになった。

■ 3日目の活動(12月28日(土) 天候 雪のち曇り)

最終日には、3回目となる「みんなで学習」を実施した。この日は、既存の知識を生かした柔軟な思考を必要とする難問に挑戦した。思いついたことがあれば班の仲間に伝える、分からなければ分かるまで何度も説明を聴く、他の班の仲間とも考えを伝え合うなど、班や学年といった枠を超えて、力を合わせて「全員納得」をめざす姿が見られた。

午前中の最後には、体育館でニュースポーツ「キンボール」を行った。今までのさまざまな活動で培ってきたチームワークを発揮してのファインプレーが続出し、得点が入ると互いにハイタッチをして喜び合うなど、大いに盛り上がった。

個人学習では、3日間続けてきた「頭ほぐし」で多くの参加者が問題数や所要時間の新記録を打ち立てることができた。自分の課題に取り組む時間では、1問でも多く問題を解こうと最後の最後まで粘る姿が見られた。



別れのつどいでは、3日間の活動を振り返るスライドショーを鑑賞した後に、船上山アカデミーの修了証書が参加者全員に渡された。やり切った達成感や満足感を胸に、笑顔で船上山少年自然の家を後にした。何より嬉しかったことは、33名の参加者が途中一人も欠けることなく、全員揃って全日程を終えられたことであった。



Ⅲ 総括

1. アンケート結果(参加者33名 アンケート回収率:100%)

《参加者の満足度》

事業全体の満足度 満足:31名 おおよそ満足:2名

《参加者の感想(抜粋)》

- ・ 分からない問題があっても、サポーターの方々、職員の方々が分かりやすく教えてくださって、ちゃんと理解できたのでよかったです。また、「みんなで学習」で自分だけじゃ分からない問題も、協力したら解けたし、仲も良くなって楽しかったです。今回のアカデミーで、たくさんの学びと友達、思い出ができました。来年もこのアカデミーに来たいです。(小学生)
- ・ 去年も船上山少年自然の家の企画に来たことがあります。あの時もよかったです。今回もとても楽しませてもらいました。今回は勉強合宿、僕はあまり勉強に集中できないことからこの企画に参加しました。班のみんなと協力したり部屋でいろいろなことをしたりしました。今回の企画で協力できる友達もできたし、みんなと勉強することが楽しいと思えました。最高でした!!(中学生)
- ・ 今年から高校生も参加できるようになって良かったです。班の班長や部屋の最年長として関わった子たちを支えられていたのかなと思います。個人学習では、目標の高校1年でやった数学を復習して理解することは、あまり達成できなかつたけど、分からないところを大学生やサポーターの人たちに教えてもらって色々理解できました。途中大学生や指導者の人たちと話しすぎて手が止まってしまうこともしばしばあったけど、楽しかったので良かったです。(高校生)

2. 成果

- ・ 各活動の設定、職員・サポーターの働きかけ、参加者同士の交流活動が機能し、参加者の高い満足度につながった。
- ・ 「個人学習」の時間では、一人一人が自分の課題に集中して取り組み、参加者全体で学習に向かう雰囲気を作ることができた。
- ・ 「みんなで学習」の時間をはじめとする班の活動では、他者と協力して進めていこうとする意欲的な姿が見られた。
- ・ その他のプログラムでも、参加者にとって新鮮な体験や参加者同士で関わり合う活動を提供することができた。

3. 課題

- ・ 施設のきまりや船上山アカデミーの約束事を参加者が守れるように、丁寧に声掛け等の関わりをする必要がある。
- ・ 参加者の活動班ごとの担当スタッフを明確にしておくべきである。
- ・ 活動時間の長さやバランスを見直したい。90分の個人学習の後半には集中が途切れてしまった様子の参加者が多く見られた。また、「個人学習以外の活動をもっとしたい」という旨の参加者感想もあった。
- ・ 学習用PC(タブレット端末等)の使用のきまりに関して、参加者への事前連絡が必要である。